

# 哥西大學生報

第四百九十九號

昭和二十二年五月



關西大學生報發行局

關西大學教授

中村良之助著

# 構成地理と國防政策

待  
望  
の  
名  
著  
出  
づ  
!!

【最新刊】

菊判クロース美装  
204頁 函入

定價 2.30

本書は國防と云ふ立場から地理學を如何に研究したら良いかを記述したもので、特に經濟地理學研究の考慮すべき一國の資源、位置、交通等土地固有の因子、國の人的要素、國の生産配給の事情等を實例を擧げて如何なる意味で研究すべきかを明解に説明した。從來の經濟地理學が單に事情の列記に止まり勝であつたに對し、之を理論的、綜合的に地理學を國家の學とした處本書の著しい特色である!!

東京商大助教授 佐藤 弘著

## 日本國勢地理

菊判クロース美装 204頁 定價 1.70

躍進日本の國勢並に國力を地理學的に解剖し検討した名著。最新の内容、豊富なる圖版は我國現下の國勢を描出して遺憾なし。一讀を薦む!!

東京文理大・東北帝大講師 吉村信吉著

## 湖 沼 學

菊判クロース美装 538頁 定價 8.00

田中阿歌嚮子爵に先鞭された湖沼研究を學として大成した本書により本邦湖沼學が始めて確立されたのである。物理湖沼學、湖沼生物學の研究は勿論生物群聚や湖沼の綜合的特質をも記載した湖沼學の一大權威である。

大藏省財政研究會編

## 新 稅 法 要 覽

【最新刊】 四六判 250頁 定價 .80

本書は新稅法を誰にでも解る様に解説したもので大藏省編纂のもの丈にその内容は正確詳細懇切を極め信頼するに足る現代人必携の書である!!

時代の要求に應ずる最新刊出づ!!

【六法の最高峰】

特輯六法全書 (現行法令  
條約集付)

三六判極上羊革裝 2500餘頁 定價 5.50

手頃な六法

新輯六法全書 (參照條文及  
事項索引付)

新三五判革裝 1800頁

内容見本  
申越次第  
贈 呈

大阪西區阿波座

電話 代表新町 539 番

振替大阪 81300 番

# 三省堂

# 生産力擴充と物價の問題

教授 正井 敬次

## 目次

生産力擴充と物價の問題……………	正井敬次 (一)
新刊紹介……………	岩崎卯一 (六)
學内報……………	(七)
入學式舉行—追試験施行—専門部國漢科 の文部省實地調査—仁保獎學資金寄附— 新學長就任並に告別式—本年度入學者及 在學者數—かくほう抄—専門部追加卒業 生氏名—衆議院議員當選不學關係者氏名	
校友……………	(一〇)
關大スポーツ……………	(一一)
庭球—籃球—野球—陸上競技—卓球—柔 道—拳闘—蹴球—米式蹴球—航空	
學生……………	(一三)
昭和十二年度入學選拔試驗問題……………	(一三)
圖書館統計……………	(一七)
學報俳壇……………	(一八)

我國現時の經濟問題に關心を持たれる讀者諸君のために、今日問題とせられてをる生産力擴充と云ふこと、物價との關係について、經濟學の常識からすれば之を如何に見るのがよいかと云ふ點について、少しくお話をしてみたいと思ひます。

現内閣の政綱の中に全般的に産業の振興を計る、と云ふことが示されてゐるのでありますから、生産力擴充と云ふ言葉は現内閣の經濟政策の一面を表明せるものであること勿論であります。併し生産力擴充と云ふことが特に問題とせられるやうになつたのは結城藏相が、生産力擴充の必要に應ずる爲に日銀の貸付制度を改正して同銀行に於ける工業方面への金融能力を擴大するつもりである、との言明を行つた以後に於てであると思はれるのであります。

政府が生産力擴充の問題に至つたのは、直接間接の軍需關係商品の價格が暴騰すると豫算の遂行に困ることになるから、其方面の工業の生産設備を擴大して内地に於ける其方面の物資の生産量を増加せしめて價格の騰貴を防ぐ、と云ふのが第一の理由であり、次に右の如く軍需品なり、其他の工業の生産設備を擴張することが、一般物價の騰貴を抑制することによつて國民生活安定の問題を解決する所以である、と云ふのが第二の理由であり、更に又、生産力擴充と生産量増加が貿易上の輸入超過と爲替相場下落の原因とする物價騰貴を防ぐ、と云ふのが第三の理由であつたかと思はれます。

私は最初生産力擴充に關する當局の聲明に接しました際、斯う思ひました、今日の場合元より軍需關係工業の生産設備擴張は必要であるが、今日必要とせらるゝ様な種類の生産力擴充が一般物價騰貴の抑制を、従つて國民生活の安定を期待せしめ得るかの如くに説くことは甚だ無理なことであり、次にまた其れが輸入防遏と爲替相場

下落による物價騰貴を防ぎ得ると云ふ點については一層問題である、と。私は今日の場合生産力擴充と云ふ積極的政策は必要であるが、それと同時に價格統制とか消費統制とかの消極的政策の實行が一層必要であると思ふのであります。そこで四月中旬に或る雜誌（銀行研究）への寄稿には其旨を述べて置いたのであります。最近に於ては當局に於ても其方面のことに注意せられることになつたやうで、甚だ結構なことと思つてをるのであります。實際に景氣とか物價など、云ふものは世間の人氣に支配せられることが大きいのであります。最近の短期間に於ける物價とか株式相場的情勢について見ましても、當局の生産力擴充とか日銀の産業金融擴大に關する聲明が産業界の人氣を煽りまして、それが一層物價とか株式相場を高くする原因になり、反對に消費統制とか價格統制の聲が商品なり株式に對する迷惑の人氣を靜めることになつたものと思はれます。但しこのことは茲に問題にしようとする物價の問題と直接には關係のない話であります。

さて**生産力擴充と一般物價との關係**については、經濟學の常識として如何やうの事が考へられるかと云ひますと、軍需品工業なり一般工業なりの生産設備が、國民の節約と貯蓄に基きて蓄積せられたる資本で行はれる場合は別問題であるが生産設備擴張が日本銀行なり一般銀行の信用設定による新しき貸付資本によつて行はれる場合には、一般物價の騰貴を招くことが當然である、従つて今日當局によつて企畫せらるゝが如き生産力擴充は、物價問題即ち國民生活安定問題を犠牲にすることによつて初めて實行せられ得る、と云ふことが先づ第一に考へられるのであります。次に**生産力擴充と貿易及び爲替相場との關係**であります。此點についても、今回我國に於て問題とせられてをる生産力擴充の企ては、貿易上の輸入増加と爲替相場の下落とを防止すると云ふよりは、寧ろ其の反對の結果を招くものと考へられるのであります。

以上二つの點が今回我國の生産力擴充の問題について云ひ得るのであります。

然らば其は如何なる理由に基いて然るのでありますか、以下に於て其等の點について簡單なる解説を試みたいと思ひます。なほ私は今日の準戰時經濟體制に於ては勿論軍需品工業の生産力擴充が必要であると思ふのであります。私は其の結果が直接に生産的ではない軍需品工業の生産力擴充に關しては、特に國民に非常時經濟の意識に基く奉公心的の節約と貯蓄とを奨励し、其貯蓄資本を右の生産力擴充に利用することが我國の國民生活の安定と國民經濟の將來に向つて必要であることを切に感ずるものであります。其點をも最後に附加へて一言したいと思ひます。

## 二

軍需品工業なり一般工業なりの生産力擴充が貯蓄資本によつて行はれる場合には、國民生活の安定を害するやうな一般物價の騰貴は起らないが、それが新しい銀行の貸付資本によつて行はれる場合には當然に一般物價の騰貴が発生すると云ひましたが、其は何故でありましょうか。

國民が一般に消費を節約して貨幣所得の中から貯蓄を行ふと云ふと、其結果は一面に於ては銀行預金又は郵便貯金の増加となつて現はれ、他の一面に於ては種々の消費貨物の過剰品の存在と惹いては消費財の原料たる生産財及び消費財生産に關する勞働の過剰が存することになります。

右の如く、節約の結果としての「かね」と物とは一物の兩面の如きものであります。まして、貯金と云ふものは節約せられた物を表章するものに他ならぬのであります。而してこの「かね」と物とが節約によつて蓄積せられた資本の二つの形であります。さて其資本を生産設備擴張に利用する場合、それが物價に如何なる影響を及ぼすかと云ふのが茲での問題であります。生産者が他の者から生産擴張のために資本を求めるとき、資本は先づ「かね」の形に於ける資本（資金）として需要せられるのでありますから、茲にては問題を、貯蓄せられた貨幣での資本が

生産擴張に用ひられたる場合それが物價に對して如何なる結果を及ぼすか、と云ふことにしてそれを考へて見ることに致します。

節約の結果銀行預金とか郵便貯金の増加が生ずるとする、それ等の増加部分を銀行又は政府預金部が各種の工業に向つて生産設備擴張資金として貸付けるものと致します、これは貯蓄の増加部分だけの貸付でありますから新しき銀行信用設定による貸出ではありません。其結果は如何であるかと云ひますと、各種の工業に於ては生産設備擴張のために種々の物資と並に労働に對する需要が増加します。然るに一方消費財生産の方面に於ては、消費者の節約によつて消費財の賣行と従つて生産が減少するため其方面には物資と労働との過剰が生じます。而して其等の過剰は丁度各種工業に向つて貸出されたる貯蓄資本に對應する部分のものであります。そこで若し各種の工業が、借入資本を以て消費財生産部門に於ける過剰の物資と労働とを其まゝに買入れて之を生産擴張に向つて利用すると云ふ結果になるならば、一般物價には何等の變動も起らぬと云ふ都合のよいことに事態が運ばれて行くのであります。

併し右の如くに消費財生産部門の過剰資本（物資）が丁度生産財生産部門たる各種工業の生産設備擴張に利用せられ、物價に少しの變動も起らぬ、と云ふやうな譯には行きません。實際上は如何であるかと云ひますと、生産擴張のために各種の材料とか原料とかの生産財の需要増加が起るのであります、其ために、差當り、其方面の商品の價格が騰貴するに至ることは當然であります。併し消費財生産部門に生産資本の需要が減少しますると、生産財生産部門には過剰商品が生ずる譯でありますから、其過剰商品が一方の生産擴張に需要せらるゝことになるとするならば、其等商品の價格騰貴は結局當初に於ける一時的現象に過ぎないと云ふことが出来るのであります。何れにしても節約によつて過剰の物價が存在するに至る場合には、一方に於て節約に對應するだけの程度に於て或る種の工業に生産

擴張が行はれる場合、一般物價には變動が起らないと云ふことが言ひ得るのであります。

右は貯蓄と生産擴張及び其結果としての物價との關係であります、次には、貯蓄の増加がなき場合銀行が新しき貸出によつて造り出した資本によつて生産擴張が行はれる場合には、物價に如何なる影響が齎らされるか、と云ふ點を考へて見ることに致します。

この場合豫め消費の節約が行はれず従つて消費財生産部門には過剰の物資が存在しないのであります、此際銀行信用によつて造り出された資本で生産者が生産擴張に要する餘分の物資を需要することになりますと、其等の物資の價格は當然騰貴することになります。而して此等の物資は結局に於て消費財生産部門から引上げられることになるのであります、其結果消費財生産部門では原料不足のため製品の値上りとなるのが當然であります。右の如く銀行信用によつて餘分に造り出された資本によつて生産擴張が行はれる場合には、物價騰貴が必然に之に伴つて發生するのであります、それは此場合各には、節約資本による生産擴張の場合の如くに、生産擴張に利用せられる貨幣資本が一面に於ける過剰の物資を代表することなく、物資に對する需要供給が均衡を得る際に、銀行信用の作用にて貨幣資本たる購買力だけが獨立に造り出されるの結果、「かね」對物の關係に於て均衡の破壊が生ずるからであります。

生産擴張が節約資本による場合と創造資本によつて行はれる場合とについては物價に對する結果に於て右の如き相違が存するのであります、今日我國に於て問題とせられる生産力擴充が若し日銀制度の改正などによる創造資本によつて行はれるものとするならば、それが物價とか國民生活安定の問題に對して樂觀的結果を導き出すものでないことは分り切つた話であると云はねばなりません。

次に生産力擴充と貿易及び爲替相場との關係について一言しますると、今日我國に於て必要とせらるゝ生産力擴充が主として軍需品關係工業に關するものと致しますならば、生産力擴充は貿易と爲替相場とを一層悪化せしむるに至るものと見なければなりません。

我國の貿易情勢は、大體に於て原料品輸入の増加と之に對應する製造品の輸出増加と云ふ、工業國としての生産活動の増進を現はすと云ふ好ましき状態にあるのでありますが、此一兩年に於ては原料品の輸入超過が甚だしいのでありまして其爲に全體としての貿易上の輸入超過が増加してをる次第なのであります。而して最近に於ては如何なる種類の原料品が輸入量の増加に於て最も著しいかと云ひますと、其はバルブ・原油及重油・鑛・銅・生ゴム・棉花・羊毛などであります此等の原料品の中棉花と羊毛以外のものは直接間接に軍需品工業に關係のあるものであると思ひます。其の何程の割合が軍需工業に於て消費せられるかは分りませんが、兎に角軍需品に向つての輸入原料品の消費と云ふこと、それが今回我國の貿易上の輸入超過の原因であると云つて間違ひはありません。

そこで生産力擴充によつて此等輸入原料品の輸入を防ぐことが出来るかと云ひますと、天然資源に恵まれてゐない我國に於ては此は甚だ困難なことであります製鐵業とか人造燃料工業などの助成によりまして幾分右種類の原料品の輸入を減少せしめることが出来るかも知れませんが、其のために他の生産業に對する資本と勞働とを其方面に奪ふことになりますと、結局産業全體としての利益にはならず其結果全體としての貿易の改善にはなり得ないかも知れません。加之、原料品生産に關する生産力擴充は當面に於てはそれに要する資本の輸入を一層増加せしむる結果を來たすに相違ありません。

右の如く、今日問題とせられるゝ生産力擴充が貿易の改善に効果があるとは、どうしても云ひ得ないのであります。而してそれが貿易改善にならぬとすれば、爲替相場下落の防止にもなり得ないことは當然であります。次に爲替相場の下落を防ぐことが出来なければ其爲の物價騰貴を抑制することも出来ないでありましよう。かくして生産力擴充が爲替相場下落によるインフレーションを未然に防ぐ爲の政策であると云ふやうな事も云へない譯であります。

大體生産力擴充が純粹に生産的の工業に關して行はるゝ限り將來に於ける生産物の増加と輸出増加とが約束せられますが故に、生産力擴充は結局に於て國內物價の騰貴をも貿易及び爲替相場に對する悪影響をも導き出さないであります。併し生産力擴充が主として軍需品工業に關するものである限り、其結果について決して右の如くには云ひ得ないのであります。

#### 四

以上述べました我國に於ける當面の生産力擴充問題と物價・貿易・爲替相場との關係についての説明は、其は經濟學の常識でありまして何人と雖も之を否定することの出来ない點であらうかと考へます。そこで私は、今日の場合我國での生産力擴充の必要を、物價又は國民生活安定問題及び貿易改善の問題などにからめて之を説くことは、甚だ無理なことであると思ふのであります。今日軍需關係工業の生産力擴充は元より必要であります、同時に物價騰貴の抑制と貿易の改善も之を忽かせることを得ないのであります。然るに右二つの事は互に矛盾するのであります、此等のことを同時に實現せしめることは不可能であります。そこで私は、今日に於ては當局と一般國民とがともに、非常時經濟の對策を次の如き認識と方法とに於て協力して之を行ふことが必要ではないかと思ふのであります。

當局は宜しく各種の生産者に對する原料所有量統制の方策を一考すべきであります。思惑輸入に對する爲替管理法による輸入制限は既に實行せられてをるのでありますが、其以外に於ても尙ほ盡すべき手段は存在するに違ひない。次に消費者に對する節約の奨励が當然に必要であります。かくして節約資本による生産力擴充が幾分にも行はれ得るならば生産力擴充が物價問題の解決と兩立し得るのであります。今日の非常時經濟を元氣のよい積極的政策で押しに行くことは無理である、それは却つて恐慌の原因を作るやうなことになるかも知れないのであります。生産者を元氣付けるため、及び財政上の收入を増加せしめるためには、消費統制とか節約とかの消極的政策は都合がよろしくないであります。併し根本的に既に純粹經濟的ではなき今日の國民經濟、即ち軍備豫算と云ふ巨額の國家的消費を必然の運命とする今日の國民經濟を、資本家的なる生産の政策を以て率ひて行かうとする所に矛盾と困難とが存せないのであります。國民は軍需工業の生産力擴充そのことに何等の疑義を持つてゐないのであります、唯その實行については、此上とも一層の部分的景氣と物價騰貴とを發生せしむるが如き方法によつて之を行ふよりも、物價の騰貴を伴はざるが如き方法によつてそれが實行せられんことを希望してをるに相違ありません。若し右の如しとすれば、當局が生産者及び消費に對して消費統制と節約行動の政策を實行する場合、其は軍備、國民生活安定、國民經濟の將來などあらゆる見地から見ても全目的の手段である、と云ひ得るのであります。

前日銀總裁深井氏は、辭職せられる少し前に或る公開の席で、此際特に一般國民の貯蓄勵行を希望すると云ふやうな聲明をなされたこと記憶します。貯蓄の奨励は平凡な提言であります、併し其際深井氏に就ては、今日の我國に於ては貯蓄資本による生産設備擴張が國民經濟の將來のために必要であると云ふ點について、私と同様のお考へがあつたから、左様な言明をなされたのであると思はれます。

併し續つて考へて見ますと、今日既に物價は餘程騰貴してをるのでありますから、貨幣所得が一向に或は少しも増加してゐない階級の者に於きましては、消費の節約とか貯蓄の餘裕などは殆んどないのであります。彼等は物價上つたが爲に從來通りには物が買へないことになつてをります、即ち彼等は既に節約を強制せられてをるのであります、即ち「強制貯蓄」と云ふ現象が我國に於て既に發生してをるのであります。そこで斯様な際に國民に自發的の貯蓄を要求することは無理なことであるやうに思はれるのであります。

併し更に考へまするに、今日產業界に於ける上下各種の階級に於ては所得の増加せる者が甚だ多いのであります、従つて其等の方面に於ては貯蓄の餘裕があるのであります。そこで其等の階級の者に對して自發的貯蓄を奨励することは決して矛盾ではありません。かくして、景氣のよき階級の者が可成消費を節約して貯蓄をする、而してその貯蓄資本が軍需品關係工業の生産力擴充に利用せられると云ふことになれば、生産力擴充による物價騰貴が緩和せられるに相違ないのであります。

### 岸本芳夫氏著 商標法讀本

商戦は益々激甚を加へ、従つて最も簡潔な、そして商標法の精神を誤り傳へない商標法學の入門書と云ふが如きものが一冊位はあつてもよいのではないだらうか―否一冊は是非なければならぬと云ふ考へが、本書執筆の動機であつた、と著者は序言に述べてゐる。

著者岸本芳夫氏は昭和四年本學專門部法律科の出身で、永く特許商標の實務に携はり、日常執筆の體驗よりして本書を成したものである。叙述は平明にして、四六判一六〇餘頁、手頃な商標法の入門書である。附録として滿洲國並に中華民國の商標法を掲げてゐる。

〔大阪 法政書房發行 定價 金壹圓〕



## 新刊紹介

### 關大學園の二收穫

中村良之助教授著

『構成地理學と國防政策』

矢口孝次郎教授著

『英國社會經濟史(封建社會)』

岩崎 卯 一

關西大學の外観内容に於ける充實は隨所に之を徴驗し得るも、最も顯著なるは我等の學園に専ら職を奉ずる同僚教授の業作生産側面に於ける結實である。多年の研究成果を纏めて自己の學問的立場若くは學說を發表し、以て其眞價を廣く學界一般に問はんとする關大教授は、余の聞知する限りにも、枚舉に遑あらざる程である。本年に入りてより早くも、野村次夫教授に商法上の一述作あり、寡作を以て知られる古川武教授も經濟學の基礎理論に於ての主著を旬日中に公刊せらる可く、余も亦曠尾に附して社會學論上の諸論稿を順

次印刷に附してゐる。されど余は茲に、本年四月二十日同時に出版されし中村良之助教授の近業『構成地理學と國防政策』(三省堂刊行)と矢口孝次郎教授の處女作『英國社會經濟史』(甲文堂刊行)とを紹介し、關大學園の發展を祈願せる幾多の人士と共に其の喜びを頌ちたいと思ふ。唯だ紙數の制限と兩著述の内容に就ての理解の不足とを遺憾とするものである。

#### 二

經濟地理學の專攻者として既に我國斯學界の中堅たる中村良之助教授の近業『構成地理學と國防政策』は昨年公刊されし『國際經濟の競争地帯に關する研究』と同じく、教科書型のものに非ずして寧ろ特殊研究に屬するものである。特に今回發表せられしものは、教授の研究關心が局部的なる地理的、現象形態の觀察より統一的理論の構成に漸次轉移せる事を示すものにして、經濟地理學の原理的吟味に於ける方向轉換を暗示せる可成り野心的なる試圖である。第一章「現代國家の組成と民族的性分」、第二章「國家の領土支配の意義」、第三章「國家の自然的基礎と其個性」、第四章「自主的國家政策と國際關係」、第五章「一國の地位に關する領土のモンタージュの問題」、第六章「國家生活の資源開發と保存の問題」、第七章「國民化と勞作量の問題」を読み來れば、中村教授の眼が常に國家構成の二契機としての血(民族)と地(領土)とに注がれつゝあるに拘らず、從來多くの經濟地理學者の試みし如き安易低調なる國家の地理學的解釋に墮して自然科學的地理學の域を脱し得ざると異り、精神科學又は社會科學の立場より、國家の個性の風土學的把握を試

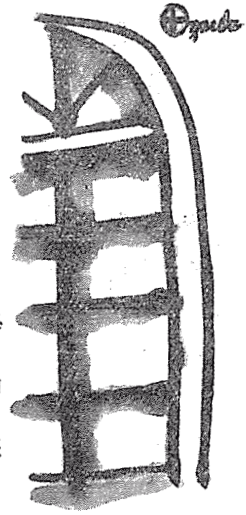
圖したる事を知り得る。地と血とを以て構成されし民族意識より滲み出でたる國家の個性を洞察し、更に斯かる國家の防衛をも考究したるものである。教授は全世界人を悉く等質的に又合理的に概念せんとする從來の方法に峻嚴なる限界を與へ、此等の基底に潜む各民族國家の個性と情感とを高く評價するのみならず、斯かる志向の強さは、此著述全體を通じての教授の言語的表現を著しく藝術的たらしめてゐる。又他面より見んか、教授の學風が英米型の自然科學的地理學よりブリューヌ教授の指導下に在る佛蘭西流の社會科學的地理學に移り、更に輓近獨逸に於ける現實科學的地理學に轉じつゝあるを窺知し得る。歐米斯學界の新動向に對する感受性の俊敏と倦まざる研究欲とに敬意を表する次第である。此著述は確に日本斯學界に注目せられらるであらう。

#### 三

中世紀の經濟史就中封建制度下の英國經濟史に關する諸論文を發表し、識者間に驚學を知られつゝありし矢口孝次郎教授は、此等の諸論文を収録したる一書、『英國經濟史』を發表せられたるが、此等の諸論文は當初より一定計畫の下に成りし結果、整然たる體系形態を具備し、眞摯なる學問作業のあとを見せてゐる。想に於て又文に於て丹念なる推敲の努力認む可く、其學風の「質實」なる事に於て、教授の恩師金子鷹之助教授の「華麗」と好對照を成すものである。英國封建制度を中心とする經濟的、政治的、社會的基礎構造を其上部構層との緻密なる分析にして、余を以て言はしむれば、歴史社會學の一業作である。斯くの如き性

(以下 十八頁へ續く)





學 內 報

## 入學式舉行

大學各學部、第一豫科及び第二豫科入學式は四月十五日午前十時より千里山學舎威德館に於て、専門部第一部及び第二部入學式は同日午後二時より天六學舎講堂に於て舉行された。國歌合唱の後神戸學長は勅語を奉讀し、新入學生々徒に對し、學術の研鑽、人格の練磨、國家思想の涵養について諄々として訓諭され、終つて學生々徒總代の宣誓があつて閉式した。

### 神戸學長訓辭

今回本學に入學を許可されましたものは法文學部二二九名、經商學部一二四名、第一大學豫科六八名、第二大學豫科二〇五名、専門部第一三四五名、同第一部一、一八九名合計二、一五九名の多數に上ります。

諸君は本學に入學志願をせられ、相當なる入學試験を通過及第せられて、今日この入學式に於て後刻宣誓せられる趣旨は、即ち學則を重んじ學生たるの本分に背かざる事を誓ふと云ふ事であり、己に一旦宣誓をした以上は其に背かない固い覺悟を持つべきで、男子が一旦誓つた以上はそれを忘却しては相成らん譯であ

ります。

扱諸君が既に中等又は高等専門學校等夫々を修了せられて、本學に入られた以上はそれ／＼望の授業をうけ研究をつまされる譯ですが、それについて多少今後には異なつた勉強の仕方が必要となつて來ます。中等學校に於きましては記憶に頼り、先生の教へられた事を鵜呑みとする傾向が尠くないのであります。が専門の學科を修めらるゝについては記憶を無視して理解は出来ないが、それよりは一層思索力、推理力、判斷力を養つて應用の力を進め、先生から教つた事はよく理解して眞實によく呑み込まなければならぬのであります。此點におきまして多少これ迄とは異つた態度を持たねばならぬ事を御注意いたしておきます。尙學生と致しまして、學問の勉強が先以ての務ではあるが、其の爲に健康を損つては修學の目的に副はない、平素から身體の力に應じて適當の運動をなしつゝ健康を保つ事が望ましいと存じます。更に教育殊に德育の問題に就ては教育勅語の御趣旨を第一に念頭に置かねばなりません。勅語に御示しになつてあります事に種々あります。併しそれは忠孝が骨子であると思ひます。今その説明を省きますが諸君はよく理解せられてゐると思ひます。即ち本學に於きましても此の御趣旨の下に、本學教育の方針としまして、人格陶冶、國家思想の涵養、現實的理想主義を掲げて、三大方針と致して居ります。私はこの前學長先輩に依つて築かれたものを遵守して行く所存であります。國家思想に就きましては最近、最も問題とせられ、日本には國民に離るべからざる特殊な國家思想のあることを明確に常に念頭に置いて頂きたいのであります。獨逸には獨逸の、又英吉利には

英吉利の、露西亞には露西亞の總て異なつた國家思想があるのであります。人格陶冶に就きましては、之は極めて廣汎に亘つた種々の條件が必要で、人格は簡單には出来ない、私と致しましては自分の務めに一生懸命にする事が一番必要と信じてゐます。學生としては健康を保ちつゝ勉強をする、それが人格を完成する第一歩であり、社會に出でゝは夫々の職務に一生懸命になる、自分の仕事に全力を盡す、さうなれば職務そのものが樂みとなつて人格の完成に近づくのであります。學生として勉學に一生懸命になる事、やがてそれは諸君の父母に孝なる所以であります、よく孝なる事は結局國家に忠なる所以であつて、勅語の御趣旨に適應するもの、即ち忠孝を全ふし得ると確信してゐます。諸君も以上の事を充分に含味されて、これからの本學に於ける學生生活を意義あらしめる様、只今より希望して已まない次第であります。

## 追試験施行

學部一、二年	自五月十日	至同十八日
大學豫科	自四月廿一日	至同廿四日
専門部三年	自四月廿二日	至同廿六日
同 一、二年	自五月十七日	至同廿一日

## 國語漢文科の

### 文部省實地調査

専門部文學科國語漢文專攻科卒業生の中等教員國語科無試験檢定に關しては去る二月四日文部省より第三學年生徒の學力檢定試験が施行されたが、同伴に關し五月六日文部省教員檢定委員會第二部より試験官來學、



## 新刊紹介

### 關大學園の二收穫

中村良之助教授著

『構成地理學と國防政策』

矢口孝次郎教授著

『英國社會經濟史(封建社會)』

岩崎 卯一

關西大學の外観内容に於ける充實は隨所に之を徴驗し得るも、最も顯著なるは我等の學園に専ら職を奉ずる同僚教授の業作生産側面に於ける結實である。多年の研究成果を纏めて自己の學問的立場若くは學說を發表し、以て其眞價を廣く學界一般に問はんとする關大教授は、余の聞知する限りにも、枚擧に遑あらざる程である。本年に入りてより早くも、野村次夫教授に商法上の一述作あり、寡作を以て知られる古川武教授も經濟學の基礎理論に於ての主著を旬日中に公刊せらる可く、余も亦驥尾に附して社會學論上の諸論稿を順

次印刷に附してゐる。されど余は茲に、本年四月二十日同時に出版されし中村良之助教授の近業『構成地理學と國防政策』(三省堂刊行)と矢口孝次郎教授の處女作『英國社會經濟史』(甲文堂刊行)とを紹介し、關大學園の發展を祈願せる幾多の人士と共に其の喜びを頌ちたいと思ふ。唯だ紙數の制限と兩著述の内容に就ての理解の不足とを遺憾とするものである。

### 二

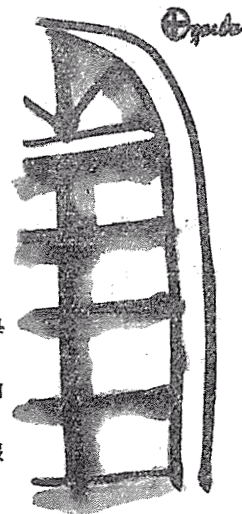
經濟地理學の專攻者として既に我國斯學界の中堅たる中村良之助教授の近業『構成地理學と國防政策』は昨年公刊されし『國際經濟の競争地帯に關する研究』と同じく、教科書型のものに非ずして寧ろ特殊研究に屬するものである。特に今回發表せられしものは、教授の研究關心が局部的なる地理的、現象形態の觀察より統一的理論の構成に漸次轉移せる事を示すものにして、經濟地理學の原理的吟味に於ける方向轉換を暗示せる可成り野心的なる試圖である。第一章「現代國家の組成と民族的性分」、第二章「國家の領土支配の意義」、第三章「國家の自然的基礎と其個性」、第四章「自主的國家政策と國際關係」、第五章「一國の地位に關する領土のモンタージュの問題」、第六章「國家生活の資源開發と保存の問題」、第七章「國民化と勞作量の問題」を読み來れば、中村教授の眼が常に國家構成の二契機としての血(民族)と地(領土)とに注がれつゝあるに拘らず、從來多くの經濟地理學者の試みし如き安易低調なる國家の地理學的解釋に墮して自然科學的地理學の域を脱し得ざると異り、精神科學又は社會科學の立場より、國家の個性の風土學的把握を試

圖したる事を知り得る。地と血とを以て構成されし民族意識より滲み出でたる國家の個性を洞察し、更に斯かる國家の防衛をも考究したるものである。教授は全世界人を悉く等質的に又合理的に概念せんとする從來の方法に峻嚴なる限界を與へ、此等の基底に潜む各民族國家の個性と情感とを高く評價するのみならず、斯かる志向の強さは、此著述全體を通じての教授の言語的表現を著しく藝術的たらしめてゐる。又他面より見んか、教授の學風が英米型の自然科學的地理學よりブリュヌ教授の指導下に在る佛蘭西流の社會科學的地理學に移り、更に輓近獨逸に於ける現實科學的地理學に轉じつゝあるを窺知し得る。歐米斯學界の新動向に對する感受性の俊敏と倦まざる研究欲とに敬意を表する次第である。此著述は確に日本斯學界に注目せられるであらう。

### 三

中世紀の經濟史就中封建制度下の英國經濟史に關する諸論文を發表し、識者間に篤學を知られつゝありし矢口孝次郎教授は、此等の諸論文を収録したる一書、『英國經濟史』を發表せられたるが、此等の諸論文は當初より一定計畫の下に成りし結果、整然たる體系形態を具備し、眞摯なる學問作業のあとを見せてゐる。想に於て又文に於て丹念なる推敲の努力認む可く、其學風の「質實」なる事に於て、教授の恩師金子鷹之助教授の「華麗」と好對照を成すものである。英國封建制度を中心とする經濟的、政治的、社會的基礎構造を其上部構層との緻密なる分析にして、余を以て言はしむれば、歴史社會學の一業作である。斯くの如き性

(以下 十六頁へ續く)



學 内 報

### 入學式舉行

大學各學部、第一豫科及び第二豫科入學式は四月十五日午前十時より千里山學舎威德館に於て、専門部第一部及び第二部入學式は同日午後二時より天六學舎講堂に於て舉行された。國歌合唱の後神戸學長は勅語を奉讀し、新入學生々徒に對し、學術の研鑽、人格の練磨、國家思想の涵養について諄々として訓諭され、終つて學生々徒總代の宣誓があつて閉式した。

#### 神戸學長訓辭

今回本學に入學を許可されましたものは法文學部二二九名、經商學部一二四名、第一大學豫科六八名、第二大學豫科二〇五名、専門部第一部三四五名、同第一部一、一八九名合計二、一五九名の多數に上ります。

諸君は本學に入學志願をせられ、相當なる入學試験を通過及第せられて、今日この入學式に於て後刻宣誓せられる趣旨は、即ち學則を重んじ學生たるの本分に背かざる事を誓ふと云ふ事であり、己に一旦宣誓をした以上は其に背かない固い覺悟を持つべきで、男子が一旦誓つた以上はそれを忘却しては相成らん譯であ

ります。

叔諸君が既に中等又は高等専門學校等夫々を修了せられて、本學に入られた以上はそれ／＼望の授業をうけ研究をつまれる譯ですが、それについて多少今後には異なつた勉強の仕方が必要となつて來ます。中等學校に於きましては記憶に頼り、先生の教へられた事を鵜呑みとする傾向が尠くないのであります。が専門の學科を修めらるゝについては記憶を無視して理解は出來ないが、それよりは一層思索力、推理力、判斷力を養つて應用の力を進め、先生から教つた事はよく理解して眞實によく呑み込まなければならぬのであります。此點におきまして多少これ迄とは異つた態度を持たねばならぬ事を御注意いたしておきます。尙學生と致しまして、學問の勉強が先以ての務ではあるが、其の爲に健康を損つては修學の目的に副はない、平素から身體の力に應じて適當の運動をなしつゝ健康を保つ事が望ましいと存じます。更に教育殊に德育の問題に就ては教育勅語の御趣旨を第一に念頭に置かねばなりません。勅語に御示しになつてあります事に種々ありますが、併しそれは忠孝が骨子であると思ひます。今その說明を省きますが諸君はよく理解せられてゐると思ひます。即ち本學に於きましても此の御趣旨の下に、本學教育の方針としまして、人格陶冶、國家思想の涵養、現實的理想主義を掲げて、三大方針と致して居ります。私はこの前學長先輩に依つて築かれたものを遵守して行く所存であります。國家思想に就きましては最近、最も問題とせられ、日本には國民に離るべからざる特殊な國家思想のあることを明確に常に念頭に置いて頂きたいのであります。獨逸には獨逸の、又英吉利には英吉利の、露西亞には露西亞の總て異なつた國家思想があるのであります。人格陶冶に就きましては、之は極めて廣汎に亘つた種々の條件が必要で、人格は簡單には出來ない、私と致しましては自分の務めに一生懸命にする事が一番必要と信じてゐます。學生としては健康を保ちつゝ勉強をする、それが人格を完成する第一歩であり、社會に出でゝは夫々の職務に一生懸命になる、自分の仕事に全力を盡す、さうなれば職務そのものが樂みとなつて人格の完成に近づくのであります。學生として勉學に一生懸命になる事、やがてそれは諸君の父母に孝なる所以であります、よく孝なる事は結局國家に忠なる所以であつて、勅語の御趣旨に適應するもの、即ち忠孝を全ふし得ると確信してゐます。諸君も以上の事を充分に含味されて、これからの本學に於ける學生生活を意義あらしめる様、只今より希望して已まない次第であります。

### 追試験施行

學部一、二年 自五月十日 至同十八日  
大學豫科 自四月廿一日 至同廿四日  
専門部三年 自四月廿二日 至同廿六日  
同 一、二年 自五月十七日 至同廿一日

#### 國語漢文科の

#### 文部省實地調査

専門部文學科國語漢文專攻科卒業生の中等教員國語科無試験檢定に關しては去る二月四日文部省より第三學年生徒の學力檢定試験が施行されたが、同件に關し五月六日文部省教員檢定委員第二部より試験官來學、

午後六時より同十時迄第一、二、三學年の授業其他實地調査があつた。

## 仁保前學長

### 獎學基金寄附

仁保前學長は本學學生生徒の獎學基金並に教授教諭の研究補助基金として金參千圓也を寄附せらるゝ事になつた。本學にては南獎學資金、武田獎學資金と共に仁保獎學資金として學生生徒の獎學並に教授教諭の研究補助に充つることゝなつた。

### 新舊學長就任並に告別式

在學生に對する神戸新學長の就任並に仁保前學長の告別式は千里山學部及豫科は四月二十日午前十時より豫科講堂に於て、専門部一部は同日午後一時より、同二部は午後六時より天六學舎講堂に於て舉行した。慈父として仰ぐ仁保前學長は懇篤なる告別の挨拶を述べられて神戸新學長を紹介し、神戸新學長は謹直な御態度にて就任の挨拶(本誌前號冠頭掲載)あり、各部在學生總代の仁保前學長送辭並に新學長の御挨拶に對し答辭を述べて閉式した。

### 仁保前學長告別の辭

諸君は既に御承知の事と思ひますが、私は先般永年の學友たる神戸博士を學長後任に推薦致しまして、學長を辭する事を許され、本日爰に新學長を皆様にご紹介することになりました。

回顧するに昭和三年四月私が學長に就任して以來滿九ヶ年も早今年は七十歳の老齡で、今や學長と致しまし

て其の重任に堪へない事を自覺して再三辭意を表明しました處、創立五十年の記念式典を舉行後退職したらよいのではないかと、今日まで延び／＼となつておりました。昨年は私に五十年式典を舉行する光榮を與へられました事は衷心感謝する處で、私の終生の記念事業として欣幸とする處であります。而して中之島公會堂に於ける記念講演會には教學刷新の必要なるを認め、其の所感を言明した次第であります。爾來常に多少なりとも刷新の實を擧げる事が念頭を去らないのであります。が、老齡七十歳肉體的にも精神的にも其任に堪へない事を自覺すると同時に、學長並びに専門部長を速かに辭任して有爲有能の適任者に譲りたいと云ふ事は私の良心の命ずる處であり、それが本學に益する道であると思ひましたが、學校よりそれなら適當の後任者を推薦せよとの事で相當苦慮いたしました。が、幸ひ京大の經濟學部教授の神戸博士が停年制の規定の爲、教授を辭される事に依り、早速同君を訪問して學長就任方懇囑致しました處、元より昵懇の仲で御座いますので快諾下さいました。そこで私は直ちに其旨を理事會協議員會に傳へ、同意賛成を求め、隨て學長辭任を許可せられたので、四月一日學長事務引繼を終つたのであります。只その手續上今以て學長名は私になつておりますが、今月中には神戸博士が名實共に學長として公表される次第であります。同君は水い間の同僚であり、親友であつてその性格に感服してゐる次第であります。私は餘りお上手を云ふ事を好まない質なのですが、同君は學徳兼備の人格者として常日頃より感服しております。どうか今後諸君が新學長に對する時諸君が私を鼻厩にしてゐてくれました様にせられて、この最

も適任とする新學長の下に一意専心、學業に勵まれん事を切望します。

校運は教職員協力、學生生徒の和合により順潮に發達しつつある際に適任者を得て辭任すると云ふ事は私の最も欣幸とする處でありまして、本學經營の當局者教職員各位に感謝すると共に、學生生徒諸君子に謝意を表する次第であります。

今日爰に告別の辭を述ぶるに當りまして、感慨無量であります。諸君とお別れしてと申しまして本學と縁を絶つたではありませんが、本學の一層の發展を確信する老齡の私よりすれば悲喜交々たる感であります。今より十年前入學式に際し就任の挨拶の時に四つの希望を申述べました。今それを思ひ浮べ省みるに大體間違がなかつたと信じてゐる、今これを繰返して申し上げ諸君の參考とならば仕合せである。

第一は諸君が卒業せられたならば本學を母校と云はれるのが普通である、而して卒業後でなくとも在學中も本學教職員に對し母子的の愛情を保れて行かれん事を切望する、學生同志は母を一にする同胞の關係である、この愛情を以て全關西大學を擧げて樂しき學園に育て、行つて欲しい、更に卒業後は母校を愛護し、母校の發展に協力せられんことを切望する。

第二は諸君が、大學令並に専門學校令の第一條を熟讀玩味せられ之を實行する様心懸ける事、自分の選んだ専門學に充分研究するのは勿論であります。が、時代の要求する處、國家思想の涵養とか、人格の修養が社會に出て最も重要であります。この點いづれ又新學長よりお話があらませう。

第三には學術研究の方法手段であります。間もなく

社會に出て、實際に注意してみれば架空な虚學ではない事か理解出来るのでありますが、其の研究方法を現實的理想主義、即ち現實に則して理想を立てて行く生活でありたいと思ひます、實際生活に即して研究する心懸けがなければ時代に遅れ進歩しませぬ、一つの理想を立てそれに依り導いてゆく、これは研究上よく考へなければならぬ、神戸新學長は學術研究に忠實な學徒である、諸君は新學長の指導に信頼さるる事を希望する。

第四は身體の健康に注意すること、健全なる精神は健全なる身體に宿ると申します、諸君の實際生活が自然の原則に悖ることはないか、運動に熱中して學業を妨げることはないか、又自分の過去に徴して暴飲暴食を慎み健康に留意せられんことを切望します。

就任の挨拶として以上の四項目を述べましたが、其の後十年間この方針により職責を盡すことに注意した、告別式に當り再びこの言葉を繰返し得ることは私の欣快とする處であります。

終に諸君の健康を切に祈り、本學の前途を祝福して告別の辭と致します。

### 本年度入學者及在學者數

入學者	在學者	計
學部	三四二	六〇二
第一大豫	五二	一一二
第二大豫	一八三	一七六
專門部一部	二九二	五九八
專門部二部	一、三三二	一、六一九
同部	二六三	八七〇
關甲		一、一三三

二 商 二三二 三五九 五九一  
計 二、四九六 四、三三六 六、八三二

### かくぼう抄

△神戸學長 文部省の委囑により五月八日松山高等學校、十日高知高等學校に於て講演、同十二日學士院例會に出席さる。

△爲春會仁保前學長謝恩送別會 四月十一日午後五時より靑南通「黃鶴樓」に於て開催。

△野村教授 原田鹿太郎講師と共著にて「商行爲」を大阪大同書院より刊行した。

△正井教授 「金融論研究」第一分冊を大阪大同書院より刊行。

△矢口教授 「英國社會經濟史」を大阪甲文堂より刊行した。

△中村良教授 「講成地理學と國防政策」を東京三省堂より發行。

△豫科修學旅行 五月八日攝陽商船攝州丸にて播州赤穂に。

△專門部一部修學旅行 五月八日攝陽商船天女丸にて淡路洲本に。

### 昭和十二年

#### 專門部追加卒業生氏名

第一 部	柴山 正男
經濟科	中曾 精
商業科	山内 敏雄
第二 部	前田 廣

法律科 岩本 要 中邑 芳久 中井 重信

岸野德太郎 岸 正 森田 裕

池上春太郎 稻岡 敏幸 富永 唯雄

山名 邦光 山元 時義 佐々木重二

壽 國一 鈴木嘉傳司

佐久間治朗 森 勝視 瀧山 殿

野尻 敏夫 柴田 一一 平田 武夫

商業科 勇内 隆夫 森本 豐

### 衆議院議員當選

#### 本學關係者氏名

選出區	氏 名	卒業年度其他
大阪	板野友造	明二九法
同	勝田永吉	協議員
同	内藤正剛	監事、明三七法
京都	津原武	推薦
同	福田關次郎	明三五在學
兵庫	野田文一郎	明二七法、協議員
同	小林絹治	大二專法
同	清瀬一郎	舊講師
岡山	小川郷太郎	舊講師
廣島	藤田若水	推薦
愛知	瀧 正雄	舊講師
北海道	岡田春夫	明三八一四〇在學
鹿児島	金井正夫	舊講師

校友

東京支部

昭和十二年春季總會は、四月二十四日例の如く中央亭本店に開催した。共同證券の岡田君、古河電氣鑛業の小見山君、名古屋より最近轉任した三菱商事の阿澄君等、珍しき出席もありて和氣藪々裡に午後九時を過ぎ散會した。因に當日の出席者は左記の通り

武田寛英、大月義平、板橋菊松、山本仲次郎、岡本四郎九、安村竹松、岡田安之助、小見山美夫、中村峯藏、阿澄秀夫、古田吉五郎、加邊力、深谷茂、山口直三郎

大連支部

第十二回秀麗會の記 三月二十日午後六時より海務協會に於て開催す、當夜は秀麗會創立第一周年に相當するので、宴酣なる頃、やをら立ち上つた村川老は、酒々十分間に亘つて青年をも壓倒する熱烈なる激勵演説をせらる、之に對し平井君謝意を述べ、一同大いに乾杯を擧げ秀麗會の前途を祝福し、和氣藪々裡に學歌を高唱して九時半散會す。

(出席者) 高濱直一、村川保藏、室山宇太郎、秀島金治、中村義雄、中野英一、光井章雄、早川源四郎、平井三朗

勳 靜

(舊名清吉) 鈴木 泰暢君(天二 專法) 福鮮鑛業會社取締役支配人 住所堺市北向陽町一丁四七 谷口 一長君(天七 專法) 大阪控訴院判事

車田 輝平君(天八 專法) 鳥取縣倉吉區裁判所判事、住所倉吉町東町

荒川虎一郎君(昭五 專法) 日刊商業新聞社(東區京橋二丁目一四)住所旭區關目町二四二 (舊姓國友) 田中 則親君(昭八 大法) 日朝汽船飼糧會社(下關市福浦町)

西本 營兒君(昭八 大商) 三井物産會社新京出張所(新京室町) 江原 文造君(昭八專一法) 柳原書店(東區北久太郎町四丁目)住所大正區南恩加島町一ノ九、木村方木戸 孝三君(昭八專一商) 勤務先合同電氣は今般會社合併の爲、東邦電力會社宇治山田營業所と改稱

小幡 俊治君(昭二大商) 愛國生命保險大阪支店、住所尼崎市今福太田二、今井方 緒方 三郎君(昭八專二法) 滿洲國鞍山昭和製鋼所秘書課、住所鞍山北四條町鈴鹿寮

飯森 德秀君(昭二大專) 高田步兵聯隊より仙臺步兵第四聯隊留守第二中隊經理部幹部候補生 中西 嘉人君(昭九 大法) 昭和電極會社(鳴尾)住所兵庫縣武庫郡鳴尾村鳴尾寺後八六ノ一〇 木村 吉雄君(昭九專二法) 安田生命保險大阪支店、住所此花區上福島南三丁目福島アパート

島田 大八君(昭九專二法) 辨理士(北區曾根崎上三丁目一〇) 原田 常彦君(昭一〇專一商) 安藤組出張所(兵庫縣加古郡二見町琴浦紡績二見工場新築工事場)

福川 壽君(昭二大法) 滿洲國民政部拓政司、住所新京崇智胡同四一六號、入江三一方 三浦 虎雄君(昭二專一商) 南都銀行丹波市支店(奈良縣丹波市町) 寺居 大土君(昭二專二法) 九州帝大法文學部在學、住所福岡市外箱崎上新家町二六〇六、古田方

移 動

末永 甫君(天三 專法) 兵庫縣川邊郡伊丹町鈴松二〇七 山内 朝登君(天三 專法) 京都市伏見區桃山町羽柴長吉特別處分地一號

武田 木曜君(天三 專法) 佐賀市神野町九〇九 德田 豐次君(昭二 專法) 京城府本町三丁目一 半田 正義君(昭三 專法) 神戸市湊區矢部町三三七 (舊姓吉田) 小侯 輝君(昭三 大專) 東淀川區元今里南通三丁目六三

中尾芳太郎君(昭五 專法) 東區橫堀六丁目二五 (舊姓楠田) 澤田 邦治君(昭六 專法) 布施市稻田六四二 砂野 隆君(昭七 大法) 奉天府隅田町二、佐近方 大谷 松次君(昭二大專) 中河内郡矢田村住道七六二 (舊姓末田) 三隅 正夫君(昭九專一商) 元山府春日町四〇

廣瀨 實君(昭九 專員) 尼崎市昭和通松雲莊二八號 中鹽 明男君(昭一〇專員) 北區都島南通二丁目七 生島 晉三君(昭一一專二商) 神戸市灘區篠原中町六丁目六一五、三澤方

改 姓 名

(舊) 桶田 邦治 (昭六 專法) 國友 則親 (昭八 大法) 村田 道雅 (昭八大專一法) 福丸 繼太郎 (昭九 大法) 末田 正夫 (昭九專一商) 梶原 時造 (昭十專一法)

(新) 澤田 邦治 田中 則親 大垣 道雅 田村 繼太郎 三隅 正夫 多田 時造



# 關西 ツース

## ◇庭 球 部

關西學生選手權大會 甲子園コート

シングルス四次試合 (四月八日)

倉光(關大) 6-0 6-0 桑井(三高)

廣瀬(關大) 6-1 6-0 諸戸(神商大)

全准々優勝試合 (四月十日)

倉光(關大) 6-2 6-3 宮井(關學大)

不破(京大) 6-2 6-4 廣瀬(關大)

ダブルス三次試合

倉光(關大) 6-1 6-0 岩田(同大)

奧村(關大) 6-1 6-0 竹端(同大)

廣瀬(關大) 6-4 6-2 諸戸(神商大)

全准々優勝試合

倉光(關大) 棄 權 不破(京大)

井上(同大) 7-9 6-3 廣瀬(關大)

北川(同大) 6-3 6-3 川勝(關大)

シングルス准優勝試合 (四月十一日)

倉光(關大) 6-3 6-4 生島(關學)

ダブルス准優勝試合

倉光(關大) 6-1 6-4 龍田(關學)

奧村(關大) 6-0 6-4 富永(關學)

シングルス優勝試合 (四月十三日)

倉光(關大) 8-2 6-4 不破(京大)

ダブルス優勝試合

倉光(關大) 6-1 6-3 宮井(關學)

奧村(關大) 6-8 6-4 生島(關學)

第八回春季甲子園庭球 (四月十七日)

シングルス優勝試合

倉光(關大) 3-6 6-3 高椋(福岡俱)

第十六回中百舌庭球

四月三十日 於南海中百舌コート

シングルス優勝試合

倉光(關大) 6-3 6-3 吉岡(御木本俱)

## ◇籠 球 部

大阪學生リーグ優勝 六戦六勝

四月十八日 於大阪YMCA

關大 51-27 大阪藥專

四月二十一日 全

關大 37-36 浪速高校

四月二十二日 全

關大 46-20 大阪高校

四月二十四日 全

關大 94-10 大阪醫醫

四月二十五日 全

關大 75-38 大阪外語

四月二十六日 全

關大 66-32 大阪商大

對上海中華籠球團

四月十三日 於甲子園室內コート

中華籠球 43 (25 | 18) 20 關大

中華 尹周祺 鄭詳 蔡玉顏

大 岡平崎 横道 野田島島

關大 久木山 横道 大幸川小

四月十六日 於大阪YMCA

關大俱 64-40 高島屋

四月十七日 全

關大俱 37-35 G B 俱

四月二十二日 全

關大俱 117-25 大丸俱

全關西選手權大會

四月二十九日 於大阪YMCA

關大俱 49-31 大阪商大 O B

四月三十日 全

關大 60-41 大阪商大

五月二日 全

甲南高校 67-34 關大俱

## ◇野 球 部

關西六大學リーグ 對同志社大學

①四月二十四日 於京都西京極球場

關大 3-0 同志社大

關大 0-0 1-0 0-0 2-0 3-0

同大 0-0 0-0 0-0 0-0 0-0 0-0

バッテリー (關大) 中河-宮川、岡本

②四月二十六日 全

關大 6A-2 同志社大

同大 0-0 0-0 0-0 2-0 0-0 2-0

關大 0-0 0-0 3-0 1-0 2-0 6-0

バッテリー (同大) 島谷-鹽見

バッテリー (關大) 釣、中河-宮川

①四月三日 於京都西極球場

關大 4-3 京大

關大 2-0 0-0 0-0 2-0 0-0 4-0

京大 1-0 0-0 0-0 0-0 2-0 3-0

バッテリー (關大) 宗内-宮川

バッテリー (京大) 福村-浮田、國原

西宮球場開記念 對慶應大學

五月三日 於阪急西宮球場

關大新人 2-1 慶應新人

關新 0-0 2-0 0-0 0-0 0-0 2-0

慶新 1-0 0-0 0-0 0-0 0-0 1-0

バッテリー (關新) 釣-吉川

バッテリー (慶新) 成田-近藤

對アラメダ野球團

四月十八日 於堺大濱  
アラメダ 2A-1 關大  
新人對實業團

四月二十九日 於寶塚球場  
川崎造船所 4A-2 關大新人  
關大新人 3-3 神戸税關  
(十回補回試合)

陸上競技部

大阪俱樂部對抗競技

四月二十五日 於大阪市立運動場  
關大俱樂部出場入賞者

- (四百米) 3、小西
- (千五百米) 1、小西
- (高障礙) 2、野口
- (中障礙) 2、野口
- (瑞典總走) 3、關大俱樂部チーム
- (鐵鎚投) 3、上村

オリンピック代表對近畿

- 四月二十九日 於神戸市新運動場
- (二百米) 1、谷口(ク)
- (走高跳) 2、近藤 3、小谷
- (八百米) 4、小西(ク) 5、門田
- (走巾跳) 1、小掠 4、小谷 5、福田
- (千五百米) 3、小西(ク)
- (百 米) 1、谷口(ク) 4、川手 5、小掠

卓球部

對大阪外語

四月二十九日 於關大コート  
第一回戦  
關大 5-2 大阪外語  
第二回戦  
關大 3-2 大阪外語

對神戸商大

五月二日 於關大コート  
(試合方法) 入點先取法  
第一回戦  
關大 6-3 神戸商大  
第二回戦  
關大 2-0 神戸商大

關大側不戦四組にて勝  
關大側不戦四組にて勝

柔道部

對天理外語 (専門部二部)

五月二日 於天理外語道場  
關大專 不戦一人勝 天理外語

拳闘部

東西對抗アマチュア試合

五月九日 於朝日會館公演場  
フライ級  
○小泉(日大) 判定 濱口(關大)  
バンナム級  
○稻田(關大) 打倒 渡邊(國際)  
フェザー級

蹴球部

關西學生會

五月九月 於花園競技場  
關西大學 6-3 同志社高商  
2-1 3  
3-1 0  
0-1 0

米式蹴球部

對神戸外人

四月十日 於神戸東遊園地  
神戸外人 34-0 關大

航空部

(航空研究會)  
特命檢閱使、東久邇宮殿下には日本學生航空聯盟を御檢閱被遊るゝに付、萬般に亘り十二分の準備を行ひて遺憾なきを期する、之が豫行を五月一日、二日の兩日、眉津陸軍飛行場に於て當關西支部配屬將校押目大尉指揮の下に施行す。  
御檢閱日程及場所左の如し。  
五月十六日、各務原飛行第一聯隊



東亞研究會

新學年に入ると共に我が東亞研究會は

會員の一致團結により主旨貫徹の新鮮激刺な奮進を試みんとして居る。

本會は前號學報にも述べた如く東亞問題の研究、東亞學生相互の理解親睦以て滿洲皇道樂土宣揚への拍車、及んでは東亞新平和の理想へ邁進するのが主旨である。

この光輝ある主旨を戴く我が會は事業として

- 一、支那語講座
- 一、研究發表討論會
- 一、研究論集發行

之は我等、雄飛を試みんとする者の實力涵養道場である。文句なしに真理の討究、學の實化、建學の大精神に即する所謂關大精神の生々しい試練である。

茲に我等は大山、奥平、水谷の諸先生の御指導を受け益々雄飛の奇才を發揮せんと活躍して居る「乃公出でずんば極東六億の蒼生を如何せん」と自負する志士は須からく東亞研究會へ來れ。而して益々我が會の基礎を固め以て東亞新平和プロジェクト建設に資せしめよ。

四月廿一日(水)支那語開講  
多數の新入會員を得て一層の振興ぶりを見せた、此の際入會を望む諸君は毎水曜日午後三時二十一教室支那語講座迄申し出られ度し。(専門部 嘉手川記)



- ② 青年にとつては、あらゆる機会を捉へて、常識を養ふやうにすることが、特に必要である。

〔専門部第一部〕

英文和譯 (法律科、經濟科、商業科)

- ① Every year thousands of people go to our national parks to see these wonderful sights, and they come away with a feeling that nature has done what no man could ever do.
- ② The civilization of a race is simply the sum-total of its achievement in adjusting itself to its environment.
- ③ Rudeness is not good manners Dr. Johnson said, "A man has no more right to say a rude thing to another than he has to knock him down."

作 文

現代青年の覺悟 (法、經、商)

〔専門部第二部〕

英文和譯 (法律科、經濟科、商業科)

- ① At present Japan is encountering world-wide hostility through swamping the markets with cheap commodities of every kind.
- ② Most of the work that most people have to do is not in itself interesting, but even such work has certain great advantages.
- ③ Real friends of Japan believe that the recent adventure in Manchuria was practically unavoidable, and that it was essential to Japan's very existence to maintain its rights there.

英文和譯 (國語漢文科)

- ① Though this work of research and experiment was making Britain and France the most rich and powerful countries in the world, it was not making scientific and inventive men rich and powerful. There is a necessary unwordliness about a sincere scientific man; he is too preoccupied with his research to plan how to make money out of it.
- ② As the present is rooted in the past, and the lives and examples of our forefathers still to a great extent influence us, so are we by our daily acts contributing to form the condition and character of the future.
- ③ It was now near midnight, and I could bear with such discussions no longer; my fatigue was

great and the hour at which I had to rise next day was early. It was, therefore, in but a drowsy state that I heard him continue his talk.

英文和譯 (英語科)

- ① Renaissance was not an event happening in the outside world: it was a growth and change in the mind and spirit of man and it is no more possible to date it than it is possible to put a date in the growth of our own minds, as for instance when we ceased to take an interest in toys, and turned to more grown-up things.
- ② The longer I live, the more obvious it is to me that the most sacred act of a man's life is to say and feel, "I believe such and such to be true." All the greatest rewards and all the heaviest penalties of existence cling about that act.

和文英譯 (英語科)

- ① 四月の中旬であつたが、私は明方近くの汽車で松本着、それから浅間に行つて或旅館に投じ、浴後階上の窓から眺めた時、西の空には日本アルプスの連峰が雪に輝いてゐた。
- ② 帝國の歴史を繙けば、吾人は必ず祖先の忠勇に感ぜざるはなし。

國語 (國語漢文科)

解 釋

上のその道をえ給へれば下も自ら時を知る習にや男も女もこの御代に當りてよき歌よみ多く聞え侍りし中に宮内卿の君といひしはまだいと若き齡にてそこひもなく深き心ばへをのみよみしこそいとあり難く侍りけれこの人年つもるまであらましかばげにいかばかり目に見えぬ鬼神をも動かしましに若くてうせにしいといとほしくあたらしくなむ

漢文 (國語漢文科)

左ノ文章ニ返點、送假名ヲ附シ、全文ヲ解釋セヨ  
 凡諸身幼。時無大小。時骨尊。必各歸於家。或  
 乃守受父母之命。必獲記而佩之。時各而運行之。或  
 時華而送命。

作 文

わが崇拜する人物を語る (法律科、經濟科、商業科)  
 人生と文學 (英語科)

以 上

〔第一大學豫科〕

國語

左ノ文ヲ解釋セヨ

- ① 何につけても故郷の便のみおぼつかなくて人やりならぬ道を恨むる折ふし我が國人のかへるにあひては文たのまむと筆とりたれど待たせて時うつすべくもあらねば心の程あらましにも書きとり難くて物にもなやまでここまでは來ぬるとばかりかいしたためてやがて別れ行くこそほいなけれ
- ② 人は昔を忘るるものなれど天は道を失はざるなるべしさらばなど天は正理のままには行はれぬといふ事疑はしけれど人の善悪は自らの果報なり世の安からざるは時の災難なり天道も神明も如何にとせぬことなれど邪なるものは久しからずして亡び亂れたる世も正にかへるは古今の理なりこれを能くわきまへ知るを稽古といふ

漢文

左の文章に送假名を附し、全文を解釋せよ。

- ① 人身所爲難、多端、寡之、不過、言行二者而已。故後身之遺、須於言行上、誠之、敬之。
- ② 夫三尺之童、與死於臨終者、我邦國有之俗也。豈非、以、列強之所、崇在、此而習憤之久、也耶。

英文和譯

- ① It is possible for a healthy mind to exist in a most unhealthy body, but the health of the body is certainly an aid to the health of the mind.
- ② The talent of success is nothing more than doing what you can do well, and doing well whatever you do without a thought of fame, If it comes at all it will come because it is deserved, not because it is sought after.
- ③ Rest is not idleness, and to lie sometimes on the grass under the trees on a summer's day, listening to the murmur of water, or watching the clouds float across the blue sky, is by no means waste of time.

和文英譯

- ① 入學試験に合格する様に彼は熱心に勉強してゐる。
- ② 今年は大變暖くて、例年より二十日も早く梅が咲いた。
- ③ 今朝は電車が大量込んで、學校まで立ち續けました。

〔第二大學豫科〕

國語

左ノ文ヲ解釋セヨ

- ① 心知れる友の引き連れて訪はるるが思ひがけず珍しきにしもまずこの頃の暑さをぞいひしろふ中におとなしき人のただ誠に涼しかるべきものは心なり身の程程に従ひ食らずやぶらず富めるもまどしきも天のまにまに私の思を消ちてなむ己に恥づる所なくばいとすがすがしからざらめやといふ
- ② たとひ身をよよしと安んじ昔をいみじとしのび物をおもしろしと思ふとも人目をばばかり世のそしりをつつしみて心に心をまかすまじきなりさればある經には心の師とはなるとも心を師とせざれと説かれたるとかや凡そ貧しきものへつらはざるはあれども富めるもの驕らざるは難ければ昔人の習なれども身の至りて徳の重からむにつけてもよくしづまりておだやかなるおもひをさきとすべし

漢文

左の文章に送假名を附し、全文を解釋せよ。

- ① 侯景見、梁主蕭衍、請謂、人口、吾常勝、敵師、矢石交下、了無、怖心、今見、蕭公、使、人自懼、豈非、天威難、犯。
- ② 願諸君子同以討論食、心。毋食、時隣患之衆、而重、故國無窮之禍。爲、亂臣賊子所、笑。

英文和譯

- ① The introduction of the machine in the 18th century made the production of an unlimited number of articles an easy task; instead of being produced singly they could now be produced in mass.
- ② None of us in this world can expect to be very happy. No matter how healthy or strong or fortunate you may be, every one of you must expect to endure a great deal of pain; and it is worth while for you to ask yourselves whether you cannot put it to good use.
- ③ It is chiefly through books that we enjoy intercourse with superior minds, and these invaluable means of communication are within the reach of all. In the best books, great men talk to us, give us their most precious thoughts, and pour their souls into ours.

和文英譯

- ① 商工業の見地から見ると、現今大阪は東洋最大の都市である。

Jahren das weitaus beste Erhaltungsmittel der körperlichen und geistigen Gesundheit ist. Der Mütsiggang macht unendlich viel müder und nervöser als die Arbeit und schwächt die Widerstandskraft, auf der eigentlich alle Gesundheit beruht.

Allerdings kann die Arbeit übertrieben werden, und es ist dies namentlich immer der Fall, wenn man bei derselben nur den Effekt, das Werk, und nicht die Arbeit selber liebt. Dann ist es sehr schwer das richtige Maß einzuhalten.—Übrigens hat die Natur uns darin einen warnen in der natürlichen, von Arbeit herrührenden Ermüdung an die Seite gestellt, den man nur beachten und nicht durch Reizmittel täuschen muß.

論 文

- (法) 法學研究の使命を論ず
- (政) 近代政治思想を論ず可し  
日本独自の憲法政治を論ずべし } 一題選擇
- (哲) 思索と生活
- (英) 文學と國民性

〔經 商 學 部〕

英 文 和 譯 (經濟學科)

- ① Wealth, as Mr. Hobbes says, is power. But the person who either acquire, or succeeds to a great fortune, does not necessarily acquire or succeed to any political power, either civil or military. His fortune may, perhaps, afford him the means of acquiring both, but the mere possession of that fortune does not necessarily convey to him either.—Adam Smith.
- ② It is the business of economics, as of almost every other science, to collect facts, to arrange and interpret them, and to draw inferences from them. Observation and description, definition and classification are the preparatory activities. But what we desire to reach thereby is a knowledge of the interdependence of economic phenomena. Induction and deduction are both needed for scientific thought as the right and left foot are both needed for walking.—A. Marshall.

英 文 和 譯 (商業學科)

IMPRATICABILITY POINTED OUT

Washington, March 27—Although naval Powers of the world are free to construct any size of armament on their new battleships, the British had long ago demonstrated the impracticability of extra-large caliber guns, Navy authorities asserted

to-day upon the heels of unconfirmed reports that the Soviet Navy is experimenting with 18-inch guns.

It is pointed out here that during the World war the British mounted 18-inch guns on her two most powerful ships at that time, the Furious and Monitor, but the armament was found to be far from practicable for naval service and was removed and remounted on the land batteries at Singapore.

Sixteen-inch guns, however, can easily be mounted on all the large capital ships since already three of the American navy's 15 battleships, the Maryland, Colorado and West Virginia, have installed that caliber of armament.

獨 文 和 譯 (經商學部)

- ① Wenn man dem andern auch mit Bösem vergelten will, so kann es nicht für gerecht gehalten werden, weil man es gleichsam mit gleicher Münze bezahlen wolle.
- ② Für die Erziehung unseres Volkes dürfen wir selbst die grössten Opfer nicht scheuen, denn in unserer Jugend liegt die Zukunft unseres Vaterlandes, und nur die beste Erziehung schafft das Volk, das in der Weltkultur geistig, politisch und wirtschaftlich tonangebend ist.
- ③ Mit kühner Todesverachtung stürzte ein Soldat sich dem Feind entgegen, und als ihm eine feindliche Kugel erreichte, fiel er mit dem Bewusstsein, dass es kein schöneres Ende für ihn gab, als ein ruhmvoller Tod für Tenno und Vaterland.
- ④ Einigung der individuellen Kräfte zur Verfolgung gemeinsamer Zwecke ist das mächtigste Mittel zur Bewirkung der Glückseligkeit der Individuen. Allein und getrennt von seinen Mitmenschen ist das Individuum schwach und hilflos. In grösserer Zahl derer ist, mit welchen es in gesellschaftlicher Verbindung steht, je vollkommener die Einigung, desto grösser und vollkommener das Produkt, die geistige und körperliche Wohlfahrt der Individuen die höchste, zur Zeit realisierte Einigung der Individuen unter den Rechtsgesetz ist die des Staats und der Nation.

論 文

- (經) ① 經濟生活に於ける金の意義  
② 我國現下の非常時に就て  
③ 經濟學を研究せんとする理由 } 一題選擇
- (商) ① 商業の概念  
② 商業の將來  
③ 商業者の使命 } 一題選擇

## 〔法文學部〕

## 外國語 (英、獨語中一ヲ選擇)

## 英文和譯 (法律學科、政治學科)

- ① Respect for the liberty of others is not a natural impulse with most men: envy and love of power lead ordinary human nature to find pleasure in interferences with the lives of others. If all men's actions were wholly unchecked by external authority, we should not obtain a world in which all men would be free. The strong would oppress the weak, or the majority would oppress the minority, or the lovers of violence would oppress the more peaceable people.
- ② It was a part of the French political philosophy of the eighteenth century that every citizen has a natural and inherent right to participate in the choice of his representatives. This was a logical consequence of the French conception that sovereignty is the general will and that this will cannot be accurately ascertained and expressed unless all the citizens are allowed to participate in its expression through the choice of representatives.

## 英文和譯 (哲學科)

- ① The Greek world had no idea of a non-political society; to it society and the state were synonymous terms, the social life was a life of citizenship. The Hellenic state was an adequate and satisfying social sphere for the individual; he wanted no other life than that of citizenship. So perfect was the harmony between the individual and the state that any dissociation of the one from the other contradicted the individual's conception of the ethical completeness. It is to this sense of perfect harmony, this deep and satisfying conviction that the state is the true and sufficient ethical environment of the individual that we owe the Greek conception of the ethical significance of the state.
- ② The rule of conduct of man toward himself and his fellows is one of the essential points of discrimination between barbarism and civilization. While ethical practice began at an very early period in the progress of man, it was a long time before any distinct ethical code became established. But the completed civilization does not exist until a high order of moral practice obtains; no civilization can long prevail without it.

## 英文和譯 (英文學科)

- ① The richness and complexity of history is too great to be summed up under any one formula, but, if history is intelligible at all, certain conclusions can and should be drawn. And a survey, impartial at least in desire, indicates that there are two chief factors making for all noble achievement in culture, one the love of liberty, the other the search for unity, and both of them are needed alike in thought and in practice. Neither liberty nor unity can, it is true, of themselves produce the vital element of genius. But without them genius withers. Either alone, it is true again, is incomplete without the other, while to combine both in a perfect harmony is an achievement, maybe, beyond the power of man. Yet it is an achievement at which he must aim or perish.
- ② We apply the epithet 'beautiful' to objects so widely different as the human face, a vase, a landscape, a hoary ruin, a pile of buildings, a piece of music, a poem and many other things besides. We do so because the feeling of pleasure is stirred up in our souls when we contemplate any of these objects. The first and essential quality, then, of beauty is that it must please, and this it may do by making an appeal to one of the five senses, sight, hearing, smell, taste, or touch, or to the intellect or to both. Sight and hearing are, however, the principal senses in the appreciation of the beautiful. The lovely hues of a rose or pansy or a painting delight the eye, the delightful strains of a song or a musical symphony, the ear; this sensuous appreciation of beauty man may possess in common with the brute creation; he alone, however, is endowed with the power of a rational appreciation of beauty.

## 獨文和譯 (法文學部)

Das vorzüglichste Mittel, Zeit zu haben, ist eine regelmäßige Arbeit mit bestimmten Tages-(nicht Nachts-)stunden und sechs Arbeitstagen in der Woche, nicht fünf und nicht sieben.—Die Nacht zum Tage zu machen, oder den Sonntag zum Werktag, das ist das beste Mittel, niemals Zeit und Arbeitskraft zu besitzten. Auch das wochen- und monatelange sogenannte "Ausspannen" hätte sein Bedeukliches, wenn es gar wörtlich genommen wird und eine völlige Enthaltung von aller Arbeit bedeutet.

Ich hoffe, es wird eine Zeit in der medizinischen Wissenschaft heraukommen, die bestimmt, als es jetzt der Fall ist, den Satz aufstellt und beweist, dass regelmäßige Arbeit namentlich in älteren

# 關西大學圖書館統計

## 千里山學舍圖書館閱覽人員

自昭和11年4月1日  
至昭和12年3月31日 (開館日數 271日)

	科別				合計	一日平均
	法文學部	經濟學部	大學豫科	專門部		
閱覽人員	3,672	1,333	929	42	5,976	22.1人
閱覽冊數	5,733	2,026	1,559	74	9,392	34.7冊

## 天六學舍圖書館閱覽人員

自昭和11年4月1日  
至昭和12年3月31日 (開館日數 205日)

科別 種別	專 門 部				大學部 及大學 豫科	合計	一日平均
	法律學 科	經濟學 科	商業學 科	文學科			
閱覽人員	3,804	990	2,556	1,087	224	8,721	42.5人
閱覽冊數	6,458	1,889	4,302	1,896	402	14,947	72.9冊

## 閱覽圖書分類別

自昭和11年4月1日  
至昭和12年3月31日

科別 分類別	專 門 部								計	
	法文學部		經濟學部		大學豫科		專 門 部		和漢書	洋書
	和漢書	洋書	和漢書	洋書	和漢書	洋書	和漢書	洋書		
總 記	43	6	23		121	1			187	7
精神科學	177	31	45		169		11		402	31
歷史科學	49	8	41		170	2			260	10
政治學	193	23	17		53		5	3	268	26
法律學	2,965	21	171	3	127		30	1	3,293	25
經濟學	223	6	632	77	101		5	3	961	85
社會學	234	9	44	1	17		3		298	10
教育學	9	1	4		26				39	1
民俗學	1								1	
軍事學			3						3	
自然科學	10		5		34	2	2		51	2
工藝學	13	2	33		16				62	2
產業	44	1	28						72	1
商業	51	4	210	7	1				262	11
美術	15	4	15		4				34	4
語 學	241	27	98	2	157	4	7		503	33
文 學	155	100	75	1	239	7			469	108
雜 誌	1,067		491		308		4		1,870	
總 計	5,733		2,026		1,559		74		9,392	
閱覽人員	3,672		1,333		929		42		5,976	

## 閱覽圖書分類別

自昭和11年4月1日  
至昭和12年3月31日

科別 分類別	專 門 部								大學部 及大學 豫科	計	
	法律學科		經濟學科		商業學科		文學科			和漢書	洋書
	和漢書	洋書	和漢書	洋書	和漢書	洋書	和漢書	洋書			
總 記	364		153	375			212		41	1,145	
精神科學	245		116	231			264		21	877	
歷史科學	71		20	61			234		8	394	
政治學	361		81	37			19		17	515	
法律學	3,850		453	751			9		149	5,212	
經濟學	698	1	550	932			25		100	2,305	
社會學	282		166	113			27		31	619	
教育學	75		2	82	2	131			3	293	
民俗學	3		2	3			11			19	
軍事學										0	
自然科學	20			9						29	
工藝學	1		2	8						11	
產業	6		20	33	3				6	65	
商業	106		278	1,269			5		7	1,665	
美術	1		3	2						6	
語 學	219	25	24	241	22	307	11		3	793	
文 學	119	11	19	115	13	636	5	16		905	
小計	6,421	37		4,262	40	1,880	16	402	14,851	96	
總 計	6,458		1,889		4,302		1,896		402		
閱覽人員	3,804		990		2,556		1,087		224		



朝冷選

四月例會

四月二十三日(火)午後六時より天六  
學舎に於て開催す、採録句左の通り

安井 龍章

春閑けて酢蛸の味のしつとりと

岸壁のおぼろ 鏡 微動せり

神屋敷蒼生

草の香や臥す父と子に陽翳す

庭隅に吹き寄せらるゝ花おぼろ

春日影子等はレンズに笑顔集めり

永幡彌壽夫

二樂莊の廢墟鶯老いて鳴けり

茅海の水白うして空と霞めり

中塚 素木

シグナルの青さを春蛾蹴へる

生駒寶山寺奥の院山道にて

若葉風光と在はず佛かな

春光のまぶしき庭に草むしる

谷口 淳一

春や宵異國人の花かざし

花人の船去り宵の廢島

飯森 徳秀

波瀾近き兵のたよりも花だより

杉本 苔露

朝市の青果春光ほしいまゝ

春光の川の瀬はねし小魚かな

山野井昂子

冴返りちら／＼白き街に笑む

下崩ゆる芝生に大樹の蔭を落す

黒杭 豆刀

春曉の白兔ルビーの瞳もてり

春蔭に若きドクター 髭おけり

佐澤比呂志

とび魚が發矢と夏を魁くる

薫風が少女のはだを白くしぬ

跳ねあがる少女に草の穂が揺るゝ

幻想

虹を背にさかなが波の秀を越ゆる

岸 風三樓

池のみどり春蟬の光はね返し

松露かく人に春蟬の遠からね

五月例會豫告

一、日時 五月二十五日(火)午後六時

一、場所 天六學舎三階

一、兼題 『當季雜詠』五句

學生、校友の參會歡迎

有田朝冷先生出席

(六頁より續)

質及び内容の業作に「社會史」の名を附するも、或は「經濟史」と呼ぶも、全く著者其人の趣味にのみ依存するものである。第一章「封建制度の意義」、第二章「英國封建制度の成立及び特質」、第三章「西歐封建社會の構造」、第四章「下部構造―莊園組織」、第六章「莊園組織の崩壞」を通讀して感ずる事は、矢口教授の研究視野の可成り廣く且つ蒐集したる資料に對する選擇眼の著しく高き點である。私見を以てせば第一章より第三章までの三論文は優れたる西歐封建社會史であり、第四章は簡勁なる西歐封建政治史であり、第五章及び第六章の二論文はよく纏れる西歐莊園經濟史である。或意味にてマルクスの社會構造の圖式を換骨脱胎的に利用したるものに非ずやと思はしむる節あるも、記述内容に徴せば、獨自の創意に出づるものゝ如く思はれる。斯くも廣汎なる領野を視線下に置きつゝも平面描寫に墮する事なく、飽迄立體的均衡の保持に成功せるは教授の學風の質實なると、資料選擇標準の嚴正なるに由る

と思ふ。今にては唯だ先驅的業作たるの記録を止むるに過ぎざるも、出版當時期的名著と稱せられし、本莊博士の舊著『日本經濟史』其他に比する時、矢口教授の此の處女作は些の遜色なきものと信ぜざるを得ない。著者は序文にて方法論に對する省察の不足を自認せられ、之を以て自己作業の短所の如く謙遜せられるも、方法論の如きは業作生産過程の實踐其のものに他ならず、これ丈の仕事を遂行する能力を充分示したる著者にとりて、獨塊系方法論の顧慮の如きは多く必要なきものである。

大正十一年六月十五日創刊  
昭和十二年五月十日印刷  
昭和十二年五月十五日發行

大阪府東淀川區長柄中道二丁目十二番地  
關西大學學務局  
編輯兼發行人 神屋敷 民藏

大阪府北區堂島上三丁目十五番地  
印刷所 谷口印刷所

發行所 關西大學學報局

關西大學  
天六學舎 大阪府東淀川區長柄中道  
本館電話 堀川 一五三九  
本館電話 堀川 一五三九  
振替 大阪 二七六〇〇  
預金 吹田 四六一三

千里山學舎 大阪府外千里山  
電話 吹田 四六一三

# 甲 文 堂 新 刊

關西大學教授 矢口孝次郎著

## 英國社會經濟史

菊判上製 定價二・五〇  
二七二頁 送料・一四

英國封建社會特にその全体として考察し莊園が存する全社會の構造的關聯を描出せるものである。

### —— 内容目次概略 ——

封建制度の意義（封建制度、封建制度に於ける上部構造と下部構造）——英國封建制度の成立及び特質（アングロサクソン時代に於ける封建化、ノルマン時代に於ける封建制度の成立）——西歐封建社會の構造（西歐封建社會の一般的性格、身分及び階級、階級の構造）——上部構造に於ける諸關係（臣從關係、土地保有關係）下部構造——莊園組織（マナーの概念、莊園制度に關する問題史の概説、マナーの外的並びに内的構成、マナーの經濟機構、農奴制度）——莊園組織の崩壞

神戸商大 助教授 新庄 博著

## 金融理論の新傾向

四六判 二一〇頁  
定價 一・八〇  
送料 一〇〇

最近の金融に關する諸學說を克明に且平明に敘述せると共に從來と異つた斯學に於ける新傾向の現はれの描出に努めた。既に從來の金融論を一應習得せる人々に對しよりよく裨益し、又漠然たる疑問を抱ける人々に對してはよき手引書である。

大阪商大 助教授 豊崎 稔著

四六判 二〇一頁  
定價 一・八〇  
送料 一〇〇

## 貨幣的景氣理論

維納學派の貨幣的景氣理論及びこれと對立するケインズの貨幣理論の核心を明かにし、それが現段階の資本主義經濟の本質を如何なる局面に於て把握してゐるか、從つてこれ等の理論に基くそれぞれの政策が何を意味するかを簡潔に示せる恰好の書である。

發行

大阪東市淀川區長柄大前

甲 文 堂

電話振替 川大 一三二六  
大阪 一四三二  
番九四三二  
番〇二五二

關西大學 教授 正井敬次 著

# 金融論研究

第一冊 菊判並製  
 紙數 一六〇頁  
 定價 壹圓拾錢  
 送料 拾錢

## 最新刊

廣き意味にての貨幣學の一分科としての金融論なるものは、本書の著者によれば、其は商品流通理論に對する資金流通理論に他ならぬ。斯の如き立場の下に、著者に於ては金融論が、金融經濟の基礎理論、資金形成の理論、貯蓄と投資、金利の研究、金融と景氣變動、我國の金融市場の六つの章の下に、一の体系をもつた資金流通理論として叙述せらるべく企てられてゐるのであるが、まづ其第一分冊たる本書に於ては、右各章の中の初の三つの章が收められてをる。即ち本書に於ては、その第一章に於て金融經濟及び資金そのもの、性質と、資金の需要供給及び其結果としての利子の問題が概念的に説明せられ、第二章に於ては資金の發生又は成立が消費者貯蓄・生産者貯蓄・銀行給用等の各々の方面よりして研究せられ、第三章に於ては資金と財の生産との關係が問題とせられてをる。

ゾムバルト原著  
 宇治伊之助邦譯  
 ◆ 國民經濟學と社會學 ◆  
 定價 貳拾五錢  
 送料 四錢

關西大學學報 第四百十九號 (昭和十二年五月十五日發行)

株式會社

大 同 書 院

東京 振替 電話  
 駿河 田 神  
 臺中 八二二二  
 中央 八二二二  
 大學 八二二二

大阪 北區 梅田 新田 道  
 電話 三六一五  
 電話 三六一五  
 電話 三六一五